

地方自治法が公布、
第1回知事公選
昭和22年4月

県立近代美術館（鎌倉）
開館、事業所公害防止
条例公布
昭和26年

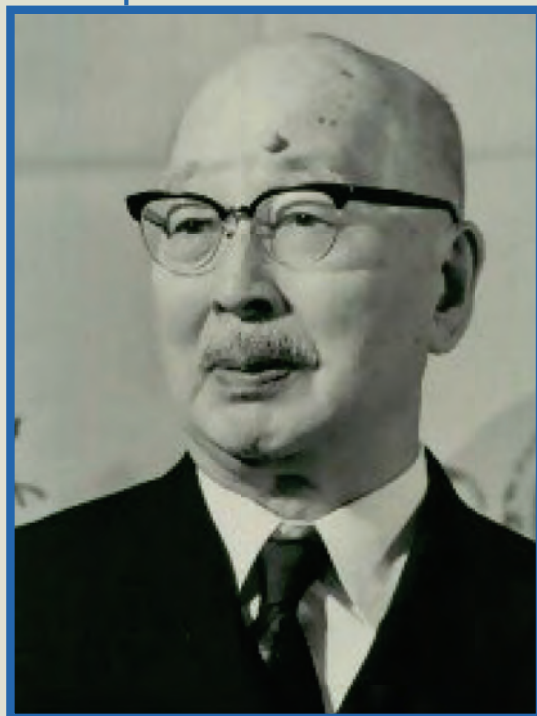
県企業庁発足
昭和27年10月

県戦没者慰霊堂
完成
昭和28年11月

県立図書館・
音楽堂完成
昭和29年11月

京浜工業地帯
県営浮島、扇島
埋立事業完成
昭和37、38年

県立博物館（現・県立
歴史博物館）開館
昭和42年3月



⑫ 第40～44代知事

うちやま いわたろう
内山 岩太郎

【在任期間】

昭和22年4月12日
～昭和42年4月22日

官選知事として

- 明治23（1890）年に群馬県に生まれ、政府の外交官として南米やヨーロッパの各国を中心に活躍し、昭和18（1943）年に退官しました。
- 戦後の神奈川県は、連合国軍を統括する第8軍の司令部が置かれ、県内各地が進駐軍に接收されるなど、他の地域では見られない特殊事情がありました。
- こうした中、ときの幣原喜重郎^{しではらきじゅうろう}内閣は、それまでの内務官僚ではなく、元外交官である内山を神奈川県知事（官選知事）に起用しました。
- 内山知事は、進駐軍との交渉に辣腕をふるい、終戦直後に県内の食糧事情が窮乏をきわめる中、**進駐軍の食糧の緊急放出交渉に成功**するなど、占領下の様々な難局に対応しました。

神奈川県で初めての公選知事として

- 昭和22（1947）年4月、地方自治法が公布されると、日本で初めての知事公選（選挙）が行われ、初めての公選の神奈川県知事に就任しました。
- 戦後、接收による経済復興の遅れや進駐軍の駐留経費などが原因で県財政は危機的な状況でしたが、朝鮮戦争にともなう特需景気で京浜工業地帯が活況を取り戻すと、**京浜臨海部のさらなる埋立や県内陸部の工業団地造成などを実施**して工業の振興を図り、高度経済成長期を通じての県経済の飛躍的な発展につなげました。
- 接收解除や占領後の米軍基地問題の対策などの折衝を行い、全国の米軍基地等が所在する都道府県で構成される「渉外関係主要都道府県知事連絡協議会（渉外知事会）」の会長を務めるなど、**渉外知事**として活躍しました。